

事務事業名		葛生総合窓口課税証明交付等事務				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなでつくる夢のあるまちづくり				担当組織	担当部	市民生活部	担当課	葛生総合窓口課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり				担当係	住民係	担当課長名	津久井博子	
	施策	2 持続可能な財政運営の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 市税の収納率の維持・向上				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	事業区分		任意の事業・義務的事业		市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
	実施方法		直営		事業分類		証明書交付・登録等事務			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H16年度～		根拠法令 条例等	地方税法、地方自治法、佐野市税条例、佐野市手数料条例		リーディングプロジェクト	該当なし	
							市長マニフェスト	該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
・市民、納税者から申請される税務証明書及び資産証明書の交付。				左記事業概要と同じ						
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
各証明書の発行件数		件	1,534	2,020	2,200					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
① 市民、納税者				対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
市民、納税者の数				人	123,182	122,582	121,522			
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
① 合併に伴う分庁舎方式にいても、市民や納税者が以前と変わらない申請ができるようにする。				成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
証明書発行件数/申請件数				%	100.0	100.0	100.0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
① 十分に歳入が確保されている。				上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
収納率(現年度課税分)				%	98.7	98.9	98.5	98.5	98.5	

① 持続可能な財政運+Q43:AV44

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	人	4	3	3					
のべ業務時間	時間	700	700	700						
人件費計(B)	千円	2,724	2,759	2,759	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,724	2,759	2,759	0	0				

事務事業名	葛生総合窓口課税証明交付等事務	担当部	市民生活部	担当課	葛生総合窓口課	担当係	住民係
-------	-----------------	-----	-------	-----	---------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成17年2月28日の合併により税務担当課が本庁舎だけとなり、市民サービスの低下を防止するため、葛生総合窓口課市民生活・年金係で税に関する各種証明書の交付を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	特段の変化なし
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特段の変化なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	市民の要求する税に関する各種証明書を、確実かつ迅速に発行し交付することは市税の維持、向上につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	税に関する各種証明書を発行し交付することは、自治体固有の事務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	この事業は、税に関する各種証明書を確実かつ迅速に発行し、交付する目的で実施しているため、対象は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない		理由・改善案	申請による証明書等の発行事務であり、事務処理は担当課であるため、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入				
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	証明書を発行しているプリンターの台数を減らすことにより、使用料等の事業費を削減することは可能と思われるが、複数の申請者があった場合も考えられるため、削減の余地はない。また、人件費についても、他の事務と兼務して行っているため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である		理由・改善案	佐野市手数料条例により徴している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
税に関する各種証明書を発行し交付することは、自治体の固有事務であり、廃止・休止することはできない。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			